

平成二四年十二月 「怒る」「冬」

堀輝規

寒い冬 のびたパッチも 宝もの
冬きたる 寒くなるほど 夏おもう
土砂ぶりへ 予報はたしか 晴れだった

伊藤直人

冬になれば 寒くなること 自然の理
冬將軍 寒い木枯らし つれてきた
怒るより 怒られるほうが 気が楽だ

西沢秀子

まぬけさに 腹が立つより なさけない
ころころと かわる冬空 今日晴れ
冬の夜は 風呂から布団へ すべり込む

山本昭子

元知事は 本音を衝かれりや すぐ怒る
あの笑顔 怒る顔より 怖いかも
冬將軍 雪を連れて 来ないでネ

左近栄子

冬こわい 肉の布団を 着る季節